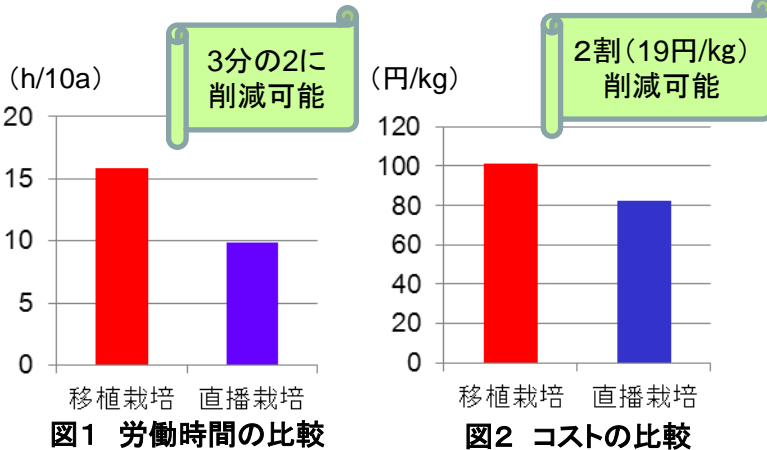


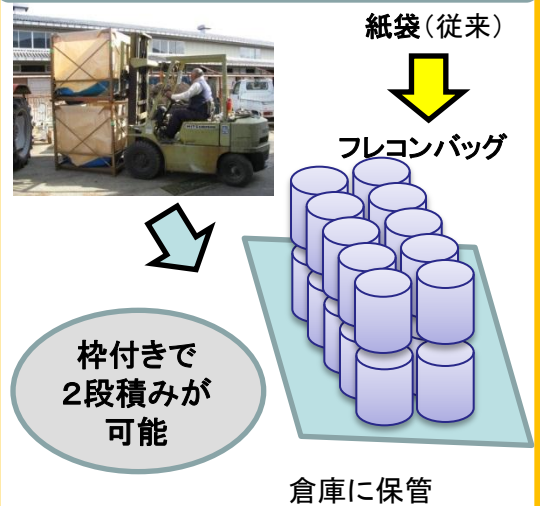
中山間地域における 飼料米生産の定着を目指した支援活動 (畜産センター・農林センター・企画室)

- ・ 直播栽培による飼料米の省力・低コスト生産技術、収穫物の保存方法をタスクチーム活動で実証
- ・ 23年度栽培面積87ha(うち中山間地域62ha(70%))
→21年度5.3haから約12倍まで拡大
- ・ 今後100haを目標に、地域資源循環型耕畜連携を推進
- ・ 京都生協と連携し、「さくらこめたまご」(飼料米を10%混合)など、安心・安全な畜産物を求める消費者ニーズに対応

直播栽培による省力・低コスト生産技術



取扱が容易で輸送に便利な保存方法



耕畜連携

給与



- ・ 平成23年度府民サービス向上成果発表会で、最優秀賞を受賞
- ・ 卵1個につき1円の上乗せ金を生産者応援金として活用する取組で、生産(農業)→流通(生協)→消費(食卓)を紡ぐ絆が生まれた!